文化庁

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

大阪中之島美術館 国立国際美術館 共同企画

すべて未知の世界へ
―GUTAI 分化と統合

Into the Unknown World―GUTAI: Differentiation and Integration

大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

2022 **10.22** sat ＿ 2023 **1.9** mon [holiday]

会場｜大阪中之島美術館 5階展示室、国立国際美術館 地下2階展示室

開場時間｜10:00–17:00 ＊国立国際美術館は金曜・土曜20:00まで（入場は閉場の30分前まで）　休館日｜月曜日（ただし、1月9日［月・祝］は両館開館／1月2日［月・休］は大阪中之島美術館のみ開館）＊大阪中之島美術館は12月31日［土］、1月1日［日・祝］休館 ＊国立国際美術館は12月28日［水］–1月3日［火］休館

＊会期・開場時間などが変更になる場合があります。詳細情報は各館公式ホームページなどでご確認ください。

主催｜大阪中之島美術館、国立国際美術館、朝日新聞社、MBSテレビ　協賛｜竹中工務店　協力｜公益財団法人ダイキン工業現代美術振興財団

助成｜令和4年度文化庁優れた現代美術の国際発信促進事業、公益財団法人 花王 芸術・科学財団、一般財団法人 安藤忠雄文化財団　特別協力｜芦屋市立美術博物館、兵庫県立美術館

すべて未知の世界への

Into the Unknown World

GUTAI: Differentiation and Integration

果敢な前進を具体美術は

高く尊重する。

「具体美術宣言」吉原治良

具体美術協会（具体）は、**1954年**、**兵庫県**の**芦屋**で**結成**された**美術家集団**です。**画家**の**吉原治良（1905-72）**を**中核**に**据**えたこの**集団**は、**絵画**をはじめとする**多様**な**造形実践**をとおして、「われわれの**精神**が**自由**であるという**証**を**具体的**に**提示**」しようとしました。**吉原**による**指導**のもと、**会員**たちがそれぞれの**独創**を**模索**した**18年**の**軌跡**は、いまや**国内外**で**大**きな**注目**を**集**め、**戦後日本美術**のひとつの**原点**として、なかば**神話化**されるに**至**っています。

本展覧会は、そんな**具体**の**歩**みを、「**分化**」と「**統合**」という**二**つの**視点**からとらえなおす**試**みです。**誰**の**真似**にも**陥**らず、**互**いに**異質**であろうとしながら、あくまで**一個**の**集団**としてまとまろうとするその**姿勢**は、**吉原**の**考**える**美術**のあるべき**姿**、つまり「**人間精神**と**物質**とが**対立**したまま、**握手**」している**状態**とも、**重**なりあうものだと**言**えるでしょう。

大阪中之島美術館と**国立国際美術館**、**二会場**によって**構成**される**本展覧会**は、**具体**の**活動拠点**である「**グタイピナコテカ**」が**建設**された**地**、**大阪**の**中之島**で**開催**される**初**の**大規模**な**具体展**です。

大阪中之島美術館で**具体**を「**分化**」させ、それぞれの**独創**の**内実**に**迫**りつつ、**国立国際美術館**では**具体**を「**統合**」し、**集団全体**の、うねりを**伴**う**模索**の**軌跡**を**追**う。それによってめざすのは、**新**しい**具体**の**姿**を**提示**することにほかなりません。**解散後50年**となる**2022年**、「すべて**未知**の**世界**へ」と**突**き**進**んでいった**彼**ら／**彼女**らのあゆみをご**覧**ください。

分化 | 大阪中之島美術館

具体は、常に先駆性と独創性とともに語られてきました。吉原治良の「人のまねをするな、今までにないものをつくれ」という言葉が、端的にそのことをあらわすものとして語り継がれていますが、その認知度とは裏腹に、具体の先駆性と独創性の内実は、明らかにされていません。「分化」をテーマとする大阪中之島美術館では、具体の制作からいくつかの要素を抽出し、個々の制作のありようを子細に検証します。本会場がめざすのは、具体は多様であるという結論を導き出すことではありません。多様であることは前提とし、どのような表現が受け容れられてきたのか最大限可視化することで、具体というグループの本質にせまろうという試みです。

吉原治良《作品》1962年｜油彩，カンヴァス｜東京都現代美術館

嶋本昭三《作品》
1954年｜塗料，新聞紙｜芦屋市立美術博物館

左：**田中敦子**《電気服》
1956/86年｜管球・電球・合成樹脂エナメル塗料・コード・制御盤｜高松市美術館
撮影｜加藤成文
©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

右：**松谷武判**《繁殖 65-24》
1965年｜ビニール接着剤によるレリーフ・油彩・アクリル，カンヴァス・合板｜国立国際美術館

前川強《麻・白》1963年｜油彩，カンヴァス・麻布・板｜大阪中之島美術館

白髪一雄《天暴星両頭蛇》1962年｜油彩，カンヴァス｜京都国立近代美術館

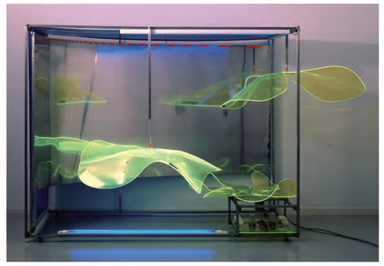
統合 | 国立国際美術館

具体は、少なくともその出発点においては、「画家」集団でした。時代が下るにつれ多様化していく造形実践の数々も、もとをたどれば、絵画という規範からの自由をめざした結果と言えます。問題は、絵画らしさをいかに解体し再構築したか、です。絵画「らしさ」をどう捉えているのか、また、それを解体してなお絵を描こうとするのか否かで、導き出される新しさはおのずと変わってくるでしょう。国立国際美術館では、マクロな視点に立って具体のあゆみを眺め、さまざまに展開される問いなおしの作業に、いくつかの傾向を見出そうと試みます。必ずしも一枚岩でないこの集団の、内なる差異をあぶりだし、そのうえで「統合」してみせることが主な目的です。

山崎つる子《Work》1960年｜油彩・エナメル，カンヴァス｜国立国際美術館

村上三郎《作品》1957年｜ミクストメディア，板｜芦屋市立美術博物館　©MURAKAMI Tomohiko

大原紀美子《作品》
1956年頃｜油彩，麻布｜宮城県美術館



ヨシダミノル《JUST CURVE '67 Cosmoplastic》
1967年｜ステンレス・プラスティック・蛍光灯・センサーほか｜高松市美術館

吉原治良《作品C》
1971年｜アクリル，カンヴァス｜大阪中之島美術館

元永定正《作品65-1》
1965年｜油性合成樹脂塗料，カンヴァス・板｜公益財団法人 西宮市大谷記念美術館

出品作家一覧
（五十音順）

今井祝雄
今中クミ子
上前智祐
浮田要三
大原紀美子
小野田實
金山明
菅野聖子
聴濤襄治
喜谷繁暉
木梨アイネ
坂本昌也
嶋本昭三
白髪一雄
白髪富士子
鷲見康夫
田井智
高崎元尚
田中敦子
田中竜児
坪内晃幸
猶原通正
名坂千吉郎
名坂有子
堀尾昭子
堀尾貞治
前川強
正延正俊
松田豊
松谷武判
向井修二
村上三郎
元永定正
森内敬子
山崎つる子
吉田稔郎
ヨシダミノル
吉原治良
吉原通雄

未知へ
世界へ
すべての
—GUTAI
分化と統合

観覧料

	一　般		大学生	高校生以下・18歳未満（要証明）
大阪中之島美術館 （）内は20名以上の団体料金	2館共通券 2,500円	1,400円 （1,200円）	1,100円 （900円）	無　料
国立国際美術館 （）内は20名以上の団体料金／ 夜間割引料金（対象時間：金曜・土曜の17:00-20:00）		1,200円 （1,000円）	700円 （600円）	

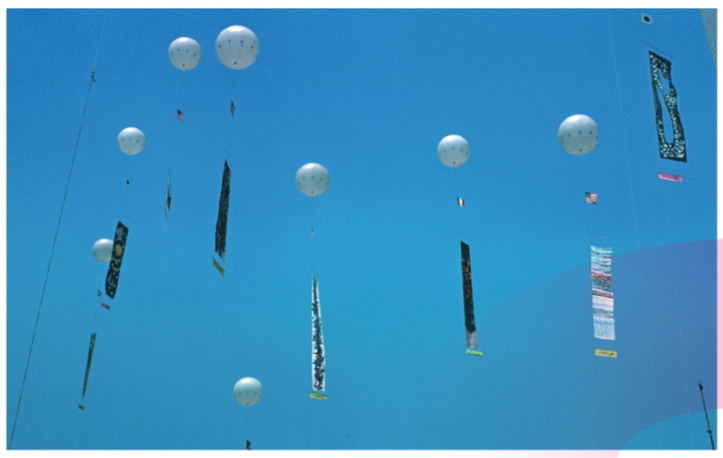
＊大阪中之島美術館で団体鑑賞をご希望の場合は、事前に大阪中之島美術館公式ホームページから、団体受付フォームにてお問い合わせください。＊心身に障がいのある方とその付添者1名について、大阪中之島美術館は半額、国立国際美術館は無料（いずれも要証明）＊本展は、65歳以上の方も一般料金が必要です。

関連イベント

シンポジウム、講演会、ギャラリートーク等の開催を予定しています。詳細は決まり次第、大阪中之島美術館と国立国際美術館、各館公式ホームページなどでお知らせします。

◎大阪中之島美術館では、具体の空中展覧会、「インターナショナル　スカイ　フェスティバル」の再現を行います（1960年発表当時の内容とは異なります）。詳細は決まり次第、大阪中之島美術館公式ホームページなどでお知らせします。

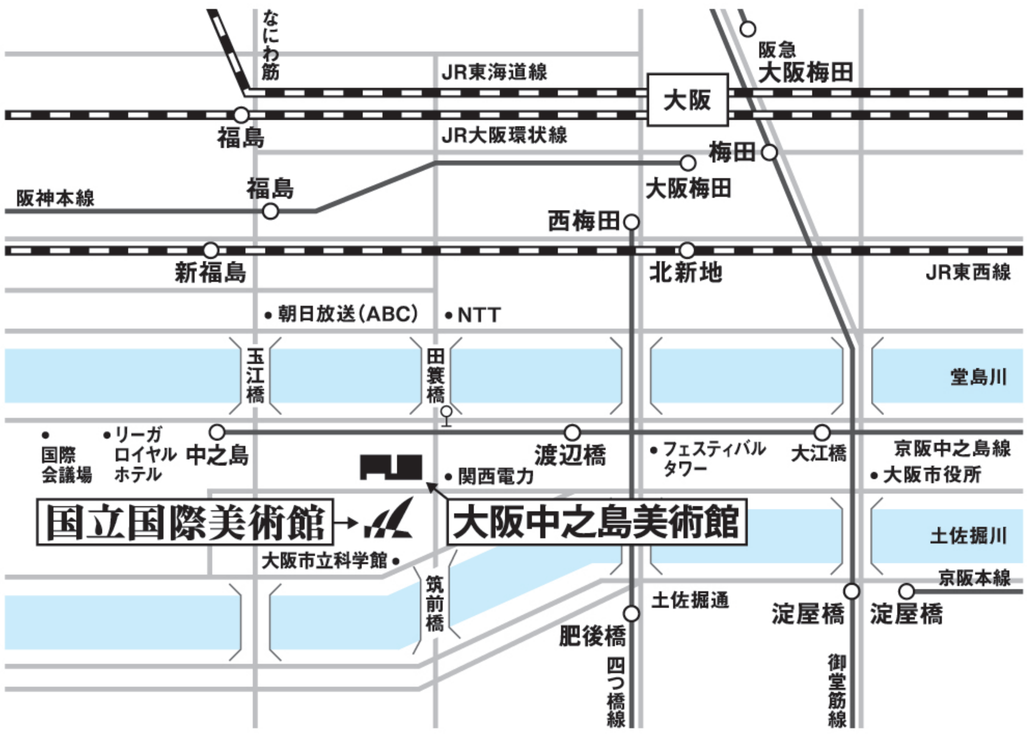
「インターナショナル　スカイ　フェスティバル」風景 1960年



本展は新型コロナウイルス感染予防対策を実施したうえで開催いたします。都合により、会期・開場時間などが変更になる場合があります。最新情報は大阪中之島美術館と国立国際美術館、各館公式ホームページなどでご確認ください。ご来館にあたっては、マスクの着用など、感染拡大防止対策にご協力くださるようお願いいたします。展示室内が混雑した場合は、入場を制限する場合があります。

交通アクセス

○京阪電車中之島線「渡辺橋駅」（2番出口）から南西へ徒歩約5分 ○Osaka Metro四つ橋線「肥後橋駅」（3または4番出口）から西へ徒歩約10分 ○JR「大阪駅」、阪急電車「大阪梅田駅」から南西へ徒歩約20分 ○JR大阪環状線「福島駅」、東西線「新福島駅」（2番出口）から南へ徒歩約10分 ○阪神電車「福島駅」（3番出口）から南へ徒歩約10分 ○Osaka Metro御堂筋線「淀屋橋駅」、京阪電車「淀屋橋駅」（7番出口）から西へ徒歩約15分 ○大阪シティバス「大阪駅前」から、53号・75号系統で、「田蓑橋」下車、南西へ徒歩約3分 ○大阪中之島美術館には有料駐車場があります（割引サービスはありません）。※詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。○国立国際美術館には専用駐車場がありません。



大阪中之島美術館
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4-3-1
4-3-1, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
〈お問い合わせ〉
大阪市総合コールセンター　TEL: 06-4301-7285
（受付時間は8時から21時［年中無休］）
https://nakka-art.jp

【同時開催】
2022年10月15日［土］—2023年1月9日［月・祝］
「ロートレックとミュシャ　パリ時代の10年」
別途観覧料金が必要です。

【次回展】
2023年1月21日［土］—4月2日［日］
「大阪の日本画」
2023年1月28日［土］—4月2日［日］
「サラ・モリス展」

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55
4-2-55, Nakanoshima, Kita-ku, Osaka 530-0005
〈お問い合わせ〉
TEL: 06-6447-4680（代）
https://www.nmao.go.jp/

国立国際美術館では本展会期中
同時開催展（コレクション展含む）はありません。

【次回展】
2023年2月4日［土］—5月21日［日］
「ピカソとその時代
ベルリン国立ベルクグリューン美術館展」
「コレクション展」

Into the Unknown World
—GUTAI: Differentiation and Integration